



発刊に寄せて

平成28年熊本地震から5年近くが経とうとしています。突然の惨事で最愛の方を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀措の念に堪えません。

ここに改めまして、犠牲になられた方々とそのご遺族へ謹んで哀悼の誠を捧げますとともに、被災された皆様へ心からお見舞いを申し上げます。

発災直後から、今もなお復旧・復興にあたられている関係者の皆様方、ボランティアの皆様方、心のこもった支援物資のご提供や炊き出し、多大な義損金などのご支援・ご協力を賜りましたことに、衷心より深謝申し上げます。

顧みますと2016（平成28）年4月14日の前震に続く16日未明の本震は、震度6弱という誰もが経験したことのない激しい揺れが私たちの故郷を襲いました。停電で真っ暗闇の中、無我夢中で力を振り絞り倒壊寸前の住居から抜け出された方、引き続き襲ってくる強い余震を恐れ、着の身着のまま寒空の中、夜を過ごされた方、皆様方のご心労は計り知れないものがあったと推察します。

夜明けの空が白々となるにつれ被害の甚大さに驚愕。道路の寸断や上下水道の破損、停電、そして、多数の家屋の倒壊、山々や農地に入った地割れ、外輪壁の崩落、さらには、これまで幾多の災害と苦難を乗り越えてきた歴史のシンボルともいえる阿蘇神社の楼門や拝殿の倒壊等々、地震災害の恐怖を思い知らされました。

このような中、本市は発災直後から速や

かな復旧・復興を確実に進め、被災された方々が一日も早く普段の生活に戻れるよう生活再建などに全力で取り組んでまいりました。

その姿として、未来につながる国道57号北側復旧ルートと現道の国道57号、豊肥本線が全線開通しました。交通アクセスが飛躍的に進展したことは、命の道（市民生活、地域振興、農林畜産、観光・商工業など）として、併せて、「農」を含む大地の復活は、全てに活力を与え、力強い発展・躍進につながるものと確信しています。

こうした与えられた試練を風化させてはならず、発災から今日までの復旧・復興への取り組み状況、震災で直面した課題や脅威・恐怖から得た教訓を未来永劫にわたり次世代へ継承し、災害を未然に防ぐ指針として本記録誌を制作しました。

私達は、熊本地震の辛苦を決して忘れることなく、感謝を胸に刻み、これからも防災・減災、危機管理に全力で取り組み、安心・安全な阿蘇市を市民の皆様方と心を一つにつくってまいります。

結びに、本誌の制作にあたり、インタビュー取材や資料のご提供など多大なご協力をいただきました方々に御礼申し上げ、本誌が将来にわたり皆様方の防災・減災対策のお役に立つことを願い、発刊にあたっての挨拶といたします。

2021（令和3）年2月

阿蘇市長

佐藤義興

阿蘇市の
春

阿蘇市の
夏



阿蘇市の
秋



阿蘇市の
冬



かけがえのない故郷・阿蘇



2016年4月14日21時26分、静寂は破られた—

明日へつなぐ いのちとくらし

平成28年熊本地震「阿蘇市震災記録誌」

Contents

発刊に寄せて 阿蘇市長 佐藤義興

阿蘇市の春・夏・秋・冬

10 再生 復興の現在地

市道阿蘇西小学校黒川堤防線(的石)
市道乙姫甲賀無田1号線(狩尾1区)
市道狩尾萱原4号線(狩尾1区)
市道甲賀無田2号線(狩尾1区)
市道浜川宝泉2号線(内牧2区)
市道内牧幹線6号線(内牧1区)
市道内牧中央線(小里・内牧1区)
国道57号北側復旧ルート 黒川橋・赤水・的石

第1章「非日常は突然に ―写真で見る阿蘇市の被害状況―」

- 16 平成28(2016)年熊本地震の概要
・震度3以上の最大震度別地震回数
・避難者数
・熊本県内の被害状況(人的被害、住家被害状況、ライフライン被害、
罹災証明書の交付申請受付件数等の状況)
- 19 熊本地震タイムログ
- 22 写真で見る被害状況【一の宮エリア】
- 30 写真で見る被害状況【阿蘇エリア】
- 42 写真で見る被害状況【波野エリア】

第2章「残された記録と記憶 ―損害の実情と市民の証言―」

- 46 阿蘇市の被害状況
- 58 インタビュー① 山田真二さん／(公財)熊本YMCA中央センター館長
(当時の阿蘇キャンプ所長)
- 60 インタビュー② 梅野孝徳さん／当時の消防団長
- 62 インタビュー③ 作見千絵さん／当時の阿蘇西小学校校長
- 64 インタビュー④ 神保京子さん／阿蘇市地域婦人会会長
- 66 インタビュー⑤ 甲斐 豊さん／阿蘇医療センター病院長

第3章「歩き出す、一歩ずつ ―復旧・復興の歩みと未来への備え―」

- 70 復旧・復興の歩み
- 77 国道57号北側復旧ルート・現道の整備と復旧
- 80 JR豊肥本線の被害と復旧
- 83 阿蘇神社の被災と復興の進捗
- 86 いざという時に備えて(避難のポイント)
- 87 家庭の備蓄のすすめ
- 88 インタビュー⑥ 山本直樹さん／当時の阿蘇市的石区長
- 90 インタビュー⑦ 稲吉淳一さん／当時の阿蘇市観光協会会長、
阿蘇温泉観光旅館協同組合理事長
- 92 インタビュー⑧ 和田一彦／阿蘇市副市長(当時の総務部長)
高木 洋／阿蘇市総務部長(当時の総務課長)
- 94 寄稿① 稗田浩紀さん／福岡市道路下水道局建設部西部下水道課
- 96 寄稿② 直野将司さん／宮崎県日向市建設部市街地整備課
- 98 寄稿③ 安藤大河さん／明星大学 Freedom music 代表
- 99 畑野理美さん／明星大学ボランティアセンター
- 100 大和卓也さん 忍さん
- 104 中長期災害支援に係る宮崎県内自治体からの派遣職員

あとがき



再生復興の現在地

発災直後

令和2年

市道阿蘇西小学校黒川堤防線
(的石)



市道乙姫甲賀無田1号線
(狩尾1区)



市道狩尾萱原4号線
(狩尾1区)



発災直後

令和2年

市道甲賀無田2号線
(狩尾1区)



市道浜川宝泉2号線
(内牧2区)



市道内牧幹線6号線
(内牧1区)



市道内牧中央線
(小里・内牧1区)



国道57号
北側復旧ルート



黒川橋

赤水

的石



第1章

非日常は突然に

—写真で見る阿蘇市の被害状況—



4月14・16日の激震は
市内のほぼ全域にわたり
被害をもたらした。
本章では、
熊本地震の発災当時に
撮影された被災写真をもとに、
住家、道路、田畑、
水道や電気など
生活インフラに
壊滅的な被害を与えた
地震の凄まじさを振り返る。

平成28(2016)年 熊本地震



山腹が崩壊し阿蘇大橋も落橋した



九州自動車道上に崩落した県道の陸橋



甚大な被害を受けた熊本城天守閣

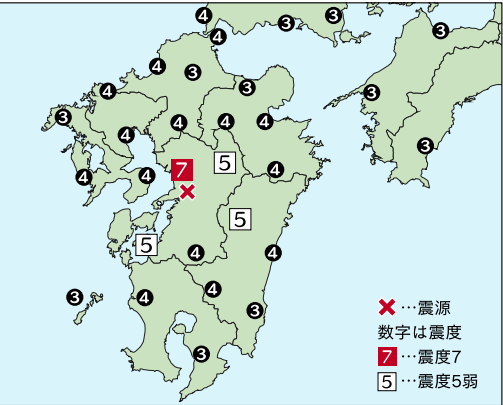


鉄筋コンクリート5階建ての宇土市役所も大きな被害を受けた

地震の概要

前震 4月14日 21時26分

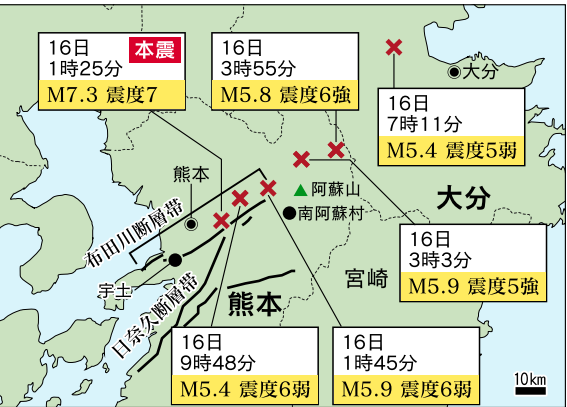
- 震央地名 熊本県熊本地方
- 発生場所 緯度経度 北緯32度44.5分、東経130度48.5分
深さ 深さ11km
- 規模(マグニチュード) 6.5
- 最大震度(熊本県益城町) 7
(阿蘇市) 5弱



前震時の各地域の主な震度(14日21時26分ごろ)

本震 4月16日 01時25分

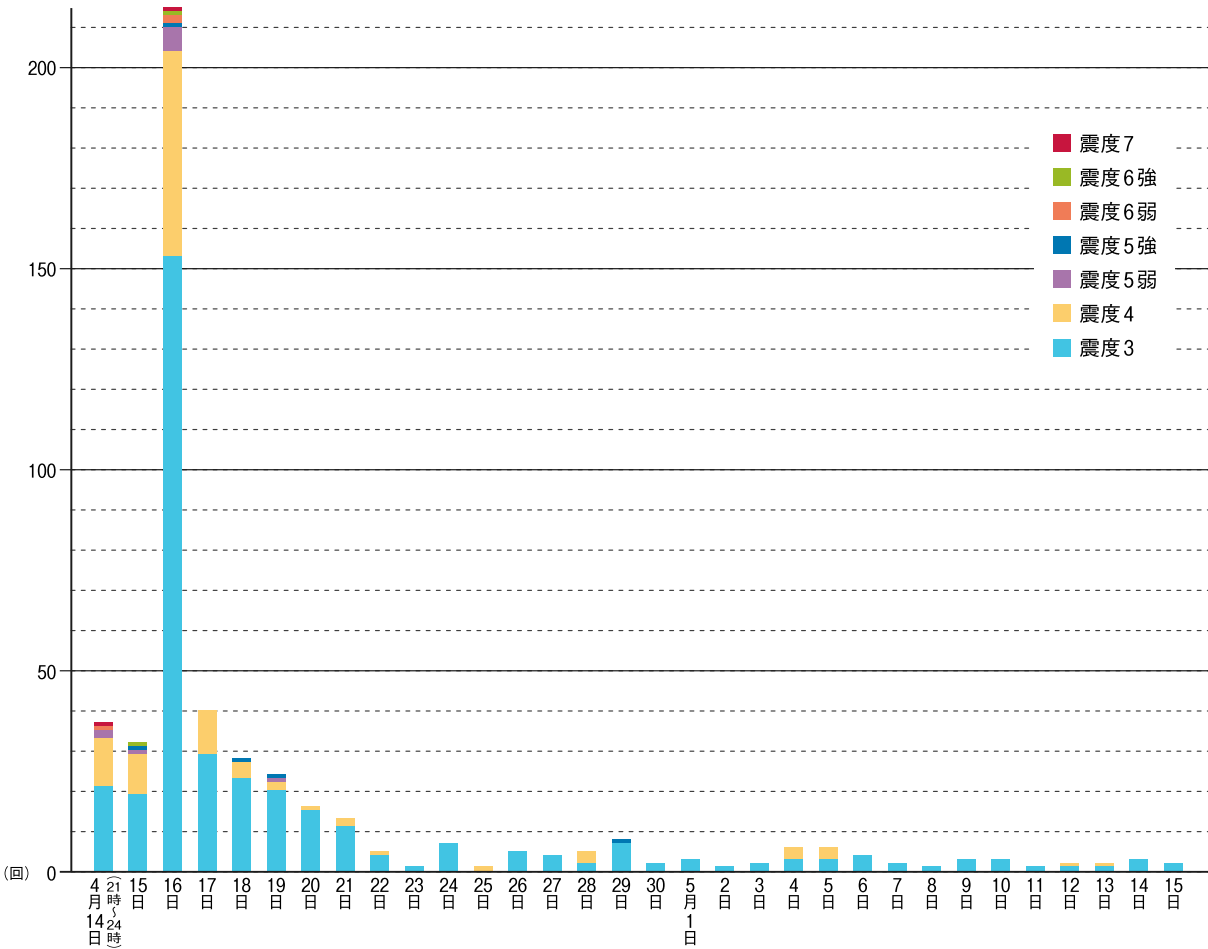
- 震央地名 熊本県熊本地方
- 発生場所 緯度経度 北緯32度45.2分、東経130度45.7分
深さ 深さ12km
- 規模(マグニチュード) 7.3
- 最大震度(熊本県益城町、西原村) 7
(阿蘇市) 6弱



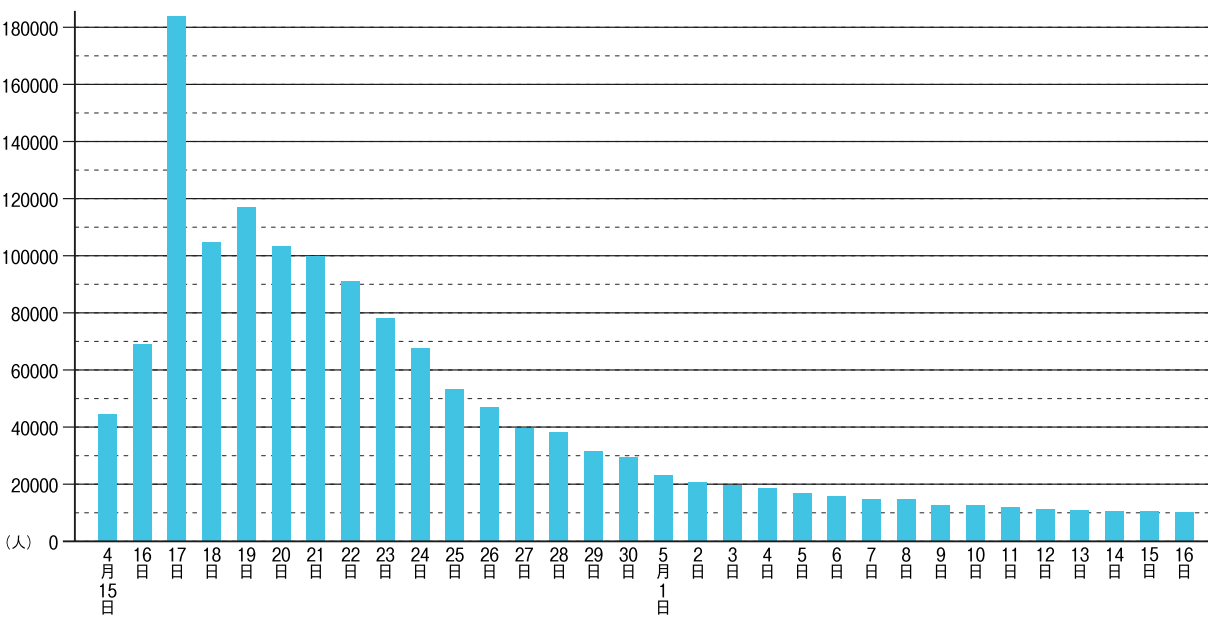
本震以降に発生した主な地震

※平成28年12月16日気象庁発表資料を基に作成

▼震度3以上の最大震度別地震回数(平成28年4月14日～5月15日)



▼避難者数(平成28年4月15日～5月16日)

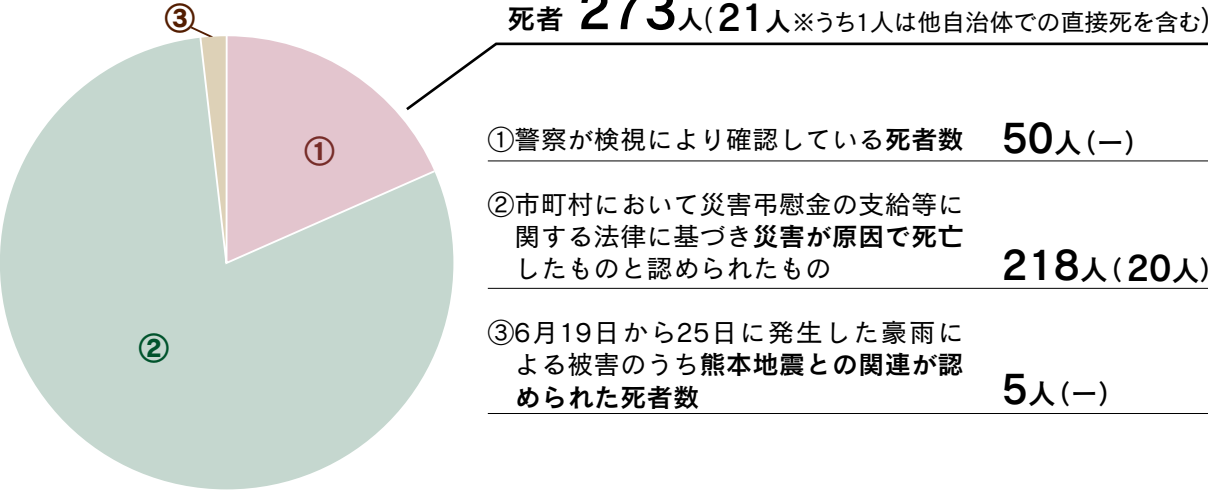


熊本県内の被害状況

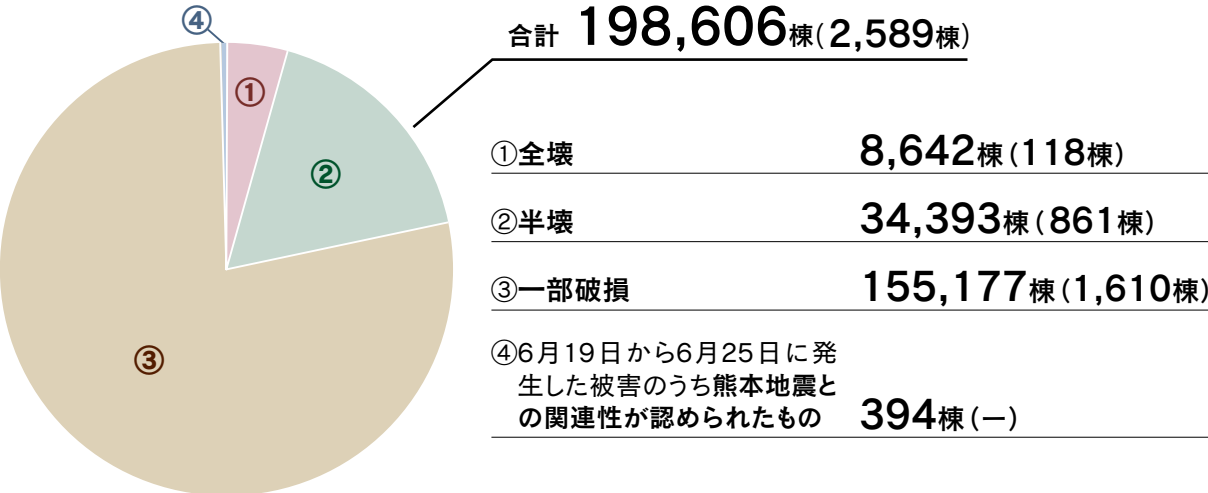
※熊本県「平成28(2016)年熊本地震等に係る被害状況について」【第308報】より（ ）は阿蘇市の被害状況



人的被害



住家被害状況



ライフライン被害

※最大被害戸数

【停 電】4月14日:**16,700**戸／16日:**476,600**戸(15,800戸)(経済産業省調べ)

【ガス供給停止】**100,884**戸(一)(経済産業省調べ)

【断 水】県内21市町村 **432,457**戸(10,700戸)(厚生労働省調べ)



罹災証明書の交付申請受付件数等の状況(令和2年12月11日現在)

依頼件数 40市町村 **214,554**件(2,589件)

交付件数 40市町村 **213,758**件(2,589件)

熊本地震 タイムログ

日	阿蘇市の動き	熊本地震の被害状況
4月 14日(木)	21:26 熊本地方を震源とする最大震度7の地震発生(阿蘇市で震度5弱)	21:26 前震 マグニチュード6.5 最大震度7の地震発生(後日、気象庁が前震と発表)
	21:45 阿蘇市災害対策本部を設置	21:58 熊本市中央区下通でビルの外壁が散乱
	21:45 全職員に参集メール配信	22:07 熊本県熊本地方に震度6弱の余震
	22:10 災害対策本部会議	22:40 蒲島郁夫県知事が自衛隊に災害派遣を要請
	23:00 災害対策本部会議	23:00 熊本城で櫓方門脇の石垣が崩れているのが見つかる
	23:23 避難所開設(本庁、内牧支所、波野支所)	23:20 政府が地震非常災害対策本部の第1回本部会議
	23:30 管内で道路通行止め4カ所 阿蘇青少年交流の家付近で土砂崩れ	
	23:50 自衛隊到着	
15日(金)	自主避難所開設(3カ所)	
	0:00 災害対策本部会議	0:03 熊本県熊本地方に震度6強の余震。益城町役場前の避難者から悲鳴
	1:00 災害対策本部会議	3:46 崩れ落ちた住宅から生後8カ月の赤ちゃん救出
	2:30 災害対策本部会議	6:27 県警が「9人の死亡を確認」と発表
	7:00 災害対策本部会議	6:43 熊本城天守閣の屋根瓦が崩れているのを上空のヘリから確認
	7:20 各区長へ被害状況確認 管内被害状況の確認 情報収集	
	8:55 避難所閉鎖	10:30 気象庁が「平成28年(2016年)熊本地震」と命名したと発表
		11:30 熊本市が緊急節水警報
		22時すぎ 益城町の担当者が報道陣に向け現状報告。「21時時点で、町内7カ所の避難所に1890人以上が避難していると把握している」
16日(土)	1:25 阿蘇市で震度6弱を記録 市内のほぼ全域で停電発生 市職員自主参集 防災行政無線による避難の呼びかけ 市役所庁舎前に災害対策本部を設置 情報収集	1:25 本震 マグニチュード7.3 南阿蘇村や菊池市、宇土市、大津町、嘉島町、宇城市、合志市、熊本市で震度6強の地震(後日、益城町と西原村で震度7と判明)
		1:25 南阿蘇村の女性(当時60歳)が同村の黒川に架かる阿蘇大橋が崩れるのを目撃
		1:25 宇土市役所が半壊
		1:30 菊池市が市内全域の1万8688世帯に避難指示
		1:45 熊本県熊本地方に震度6弱の余震
	3:03 阿蘇市で震度5強の地震	2:20 俵山トンネル崩落との情報
	3:40 自衛隊派遣要請	2:40 西原村小森で3人生き埋めとの情報
	3:55 阿蘇市で震度5強の地震	3:55 熊本県阿蘇地方に震度6強の余震
	4:00 熊本県に先遣隊の派遣要請	4:39 八代市松崎町のアパート火災で死者1人を確認
	4:50 市内各所から被害報告続々 夜明けとともに地区ごとに職員を班編成し、管内の被害状況を確認(調査)	4:50 南阿蘇村河陽地区で「多数の家屋倒壊やがけ崩れで複数が生き埋めになっているもよう」との情報
		4:55 西原村の大切畑ダム堤防から大量に漏水し、村が住民に避難指示
	5:39 大津営業所からの送電で7600戸が停電との報告	5:50 嘉島町で家屋全壊が相次ぎ、2人が心肺停止
	6:00 災害対策本部会議	6:30 八代市松江城町の八代城跡の石垣が高さ約3メートル、幅約2メートルにわたり崩れているのを市職員が発見
		7:30 気象庁は会見で「16日午前1時25分発生の地震が、今回の一連の地震活動の本震」と発表
	9:00 災害対策本部会議	9:48 熊本県熊本地方に震度6弱の余震
		11:40 石垣の崩壊が相次いだ熊本城。飯田丸五階櫓は今にもずり落ちそうな状態

日	阿蘇市の動き	熊本地震の被害状況
4月 16日(土)	14:00 指定避難所開設(一の宮小・内牧支所・農村環境改善センター・阿蘇西小・波野保健福祉センター・阿蘇中) 各避難所および医療機関への給水開始	12:50 断水が続く熊本市で、市役所前に給水車
	16:41 避難勧告(15地区／古城4区、古城7区、片隅、車帰、狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区、跡ヶ瀬、的石、小池、小倉、西小倉、山田、原の口、鷲の石 避難所／一の宮中、阿蘇中、阿蘇小、阿蘇西小、農村環境改善センター、波野保健福祉センター)	15:45 八代市などで避難勧告
	17:00 災害対策本部会議	
	18:09 避難勧告(西小園)	
	18:32 暴風警報発表	
	19:57 避難勧告(18地区／古城1区、古城2区、古城3の1区、古城3の2区、古城5の1区、古城5の2区、古城6区、古閑、神石、馬場、豆札、福岡、内牧1区、内牧5区、南宮原、湯浦、西湯浦、折戸)	
	20:00 本庁をはじめ、市内13カ所に高圧発電機車配置	20:55 県警によると、新たに32人の死亡を確認。14日夜以降の死者は計41人に
	21:30 大雨警報発表(暴風警報継続)	
17日(日)	6:10 大雨警報解除(暴風警報解除) 自衛隊による指定避難所などへの給水開始(5月10日まで)	朝までに県内の避難者は855カ所で約18万3000人
	9:00 災害対策本部会議 ※以降、4月17日から5月12日まで1日2回(9時と17時)災害対策本部会議を開催。5月12日以降は1日1回開催 管内の被害状況調査	
	自衛隊による指定避難所などへの配食開始(5月2日まで)	
	15:00 全ての避難勧告解除	18時前 南阿蘇村立野の土砂崩れ現場から救助した女性1人の死亡確認
	17:00 災害対策本部会議 保育園・幼稚園の臨時休園(18日～20日)を決定	21時現在 マグニチュード3.5以上の余震発生回数が2004年の新潟県中越地震を上回り過去最多に
	18日(月)	
	12:00 二重峠から大津町までの迂回路(ミルクロード)が通行可能になる	
18日(月)	20:41 阿蘇市で震度5強の地震	20:41 産山村で震度5強、南阿蘇村などで震度5弱
	23:27 避難指示(4地区／西小園、西湯浦、湯浦、南宮原)	南阿蘇村で2人の死亡を確認。14日以降の県内の死者は計44人に
		車中泊していた熊本市の50代女性がエコノミークラス症候群で死亡 米軍のオスプレイ2機が南阿蘇村に救援物資輸送。初の災害支援
19日(火)	7:42 避難勧告(5地区／古城1区、古城2区、古城3の1区、古城3の2区、古城4区)	南阿蘇村で新たに3人の死亡確認。14日以降の県内の死者は計47人に
	9:00 災害ごみ仮置き場設置(未来館横、阿蘇体育館横、阿蘇畜協跡地、波野グラウンド)	熊本空港で国内線の運航を一部再開
	14:50 避難勧告(5地区／古城5の1区、古城5の2区、古城6区、古城7区、片隅)	17:52 八代市で震度5強の余震
20日(水)	8:00 避難指示区域(西小園、西湯浦、湯浦、南宮原)の一時立ち入り許可 保育園・幼稚園の23日まで全園休園延長を決定	南阿蘇村で1人の死亡を確認、死者は計48人に 九州新幹線は新水俣―鹿児島中央間で6日ぶりに運転再開
	19:10 高圧発電機車により阿蘇山上を除き停電解消	
21日(木)	3:08 暴風警報発表	14日の前震から1週間。県内に強雨、一時、益城町などで計11万7287世帯・29万4446人に避難指示や勧告
	8:01 大雨警報発表	
	9:50 避難勧告(6地区／狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区、車帰、跡ヶ瀬、的石)	

日	阿蘇市の動き	熊本地震の被害状況
4月 21日(木)	10:23 洪水警報発表	JR九州が鹿児島本線熊本―八代間の運行を再開。熊本―福岡間を結ぶ高速バス「ひのくに号」も
	10:53 避難所の開設(坂梨体育館)	
	11:20 避難勧告(2地区／宇土、折戸)	
	13:22 避難指示(1地区／車帰)	
	13:46 避難指示(3地区／内牧5区、宇土、折戸)	
	14:14 避難指示(5地区／狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区、跡ヶ瀬、的石)	
	15:36 避難勧告(1地区／鷲の石)	
	15:53 暴風警報解除、洪水警報解除	
22日(金)	18:45 大雨警報解除	県のまとめによると、県内の被災家屋は1万棟超
	9:30 避難指示の全区を避難勧告に引き下げ(13地区／西小園、西湯浦、湯浦、南宮原、車帰、内牧5区、宇土、折戸、狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区、跡ヶ瀬、的石)	
	12:00 国道57号迂回路のミルクロードが全線開通 避難勧告の継続(24地区／古城1区、古城2区、古城3の1区、古城3の2区、古城4区、古城5の1区、古城5の2区、古城6区、古城7区、片隅、鷲の石、西小園、西湯浦、湯浦、南宮原、宇土、折戸、内牧5区、狩尾1区、狩尾2区、狩尾3区、跡ヶ瀬、的石、車帰)	
23日(土)	避難勧告の継続(前日からの24地区)	九州新幹線が博多―熊本間の運転を9日ぶりに再開 安倍晋三首相(当時)が益城町や南阿蘇村の被災地を視察
24日(日)		九州新幹線の脱線車両の撤去完了
25日(月)	一部を除き保育園・幼稚園が再開	南阿蘇村で1遺体発見、死者は計49人に。震災関連死も13人
		熊本市で北区植木町の田底小が11日ぶりに再開 熊本地震の激甚災害指定を閣議決定
26日(火)	9:00 阿蘇市災害ボランティアセンターを開設。初日は約80人のボランティアが活動	南阿蘇鉄道が被災状況を調査、線路や橋りょうの復旧費用として30億～50億円かかると試算
27日(水)	市などへの送電線の仮復旧作業が完了。翌28日に市内全域に送電を開始	県災害対策本部は県内の一部損壊を含む被災家屋が約2万7000棟に上ると発表
	波野小・中が再開	14日の前震以降、震度1以上の地震は20時現在で964回に 九州新幹線は熊本―新水俣間の運転を再開、13日ぶりに全線復旧
28日(木)	15:00 市内の一部に発令されていた避難勧告を全て解除	14日の前震から2週間。死者49人、関連死16人、行方不明者1人、負傷者1491人、住宅被害3万棟超、避難者3万3600人(以上13時半現在)。震度1以上の地震は2959回
30日(土)	19:00 阿蘇山上の停電解消(市内全域停電解消)	
5月 3日(火)	災害ボランティアセンターを閉所、通常ボランティアセンターへ移行	
7日(土)	上水道の断水解消	
8日(日)	災害ごみ仮置き場追加設置(農村公園あびか)	
12日(木)	自衛隊活動終了	
10日～13日 被災者生活再建支援総合窓口を開設(阿蘇会場)		
16日～18日 被災者生活再建支援総合窓口を開設(一の宮会場)		
19日～6月17日 被災者生活再建支援総合窓口を開設(市役所ロビー)		
18日～ 罹災証明書等の発行(市役所)		

参考資料：気象庁「平成28年(2016年)熊本地震の関連情報」 熊本県「平成28年熊本地震に関する災害対策本部会議資料」『平成28年熊本地震 発生から2週間の記録』『平成28年熊本地震 1カ月の記録』(共に2016年発行、熊本日日新聞社)

写真で見る被害状況

一の宮エリア



崩れた屋根で車が破損(中通)



崩壊した阿蘇神社の楼門



倒れた灯籠(国造神社)



倒れた玉垣(国造神社)



倒壊した楼門(拝殿側から)



倒壊した家屋(宮地)



1階部分が変形した店舗(宮地)



倒れたブロック塀(古城)



石垣ごと崩れ落ちたブロック塀(古城)



崩れたブロック塀(古城)



倒れたブロック塀(宮地)



崩落した石垣(中通)



剥がれた瓦(古城)



陥没した歩道(宮地)



外壁の剥がれた民家(中通)



段差ができた片隅橋(中通)



1階部分がつぶれた民家(中通)



根元から倒れたブロック塀(中通)



崩れたブロック塀(古城)



倒れたブロック塀(宮地)



大きく傾いた納屋(中通)



崩壊した納屋(中通)



崩壊した納屋(中通)



崩壊した納屋(中通)



土砂崩れ(中通)

写真で見る被害状況

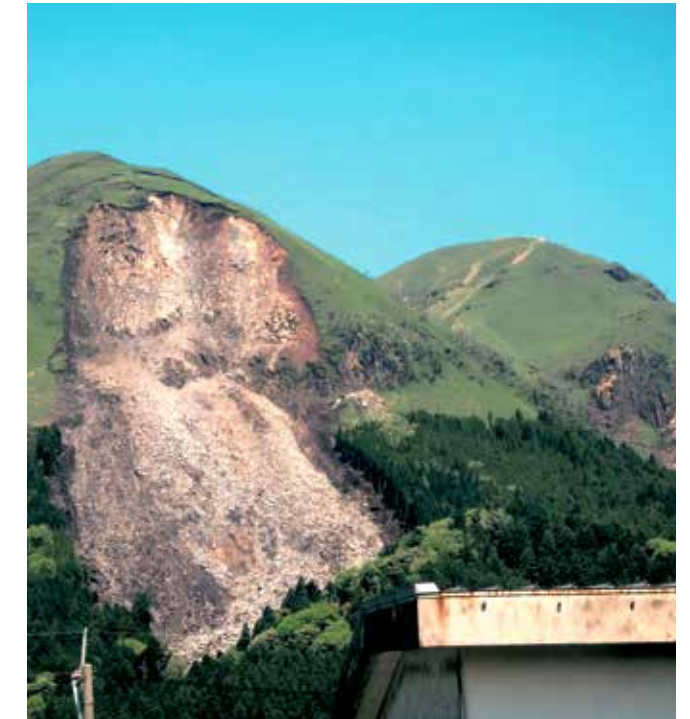
阿蘇エリア



大規模な斜面崩壊(狩尾)



土砂崩れ(内牧)



大規模な斜面崩壊(狩尾)



かぶと岩展望所



大きな亀裂が入った
かぶと岩展望所

崩落した阿蘇登山道路(草千里近く)



杵島岳の斜面崩壊(阿蘇登山道路から)



崩落した阿蘇登山道路(草千里近く)



広範囲にわたるがけ崩れが起きた
市道狩尾幹線



崩落し通行止めが続く市道狩尾幹線、
通称「ラピュタの道(天空の道)」



広範囲に及んだ農地の地割れ(狩尾)



災害ごみ仮置き場となった阿蘇体育館



大きな段差が生じた農道(赤水)



損傷したため池の堤体(車帰)



帯状の陥没が発生した農地(的石)



農地の大きな陥没により作付にも影響が及んだ



農地の陥没(狩尾)



道路に崩れ落ちた瓦(狩尾)



道路の亀裂に落ちた車(的石)



傾いた小屋(狩尾)



崩壊した民家(車帰)



崩壊した民家(車帰)



崩壊した納屋(車帰)



崩壊した民家(車帰)

県道内牧停車場線



写真で見る被害状況

波野エリア



山肌からの巨大な落石(小園)



道路の亀裂(小園)



崩れた畦(小園)

